

(別紙)

○国土交通大臣表彰

<受賞者名>

佐川急便株式会社、東武鉄道株式会社、東武タワースカイツリー株式会社、東武タウンソラマチ株式会社

<功績概要>

東京スカイツリータウンにおいて、人・物・車の情報を一元管理することで施設内の物流を効率化するとともに、外部に配送拠点を設けることによって大規模な共同配送を実現してトラック台数を大幅に削減し、物流分野における地球温暖化対策に大きく貢献した。

○国土交通省物流審議官表彰

<受賞者名>

神戸モーダルシフト推進協議会、王子運送株式会社、全国通運株式会社、日本貨物鉄道株式会社、ネスレ日本株式会社

<功績概要>

荷主、物流事業者の連携により、工場から顧客への納品について、鉄道・船舶両方のモードを利用したモーダルシフトを実現し、二酸化炭素排出量を削減することに成功した。

○グリーン物流パートナーシップ会議特別賞①

<受賞者名>

古紙輸送モーダルシフト推進協議会、南光運輸株式会社、日本貨物鉄道株式会社、日本製紙株式会社

<功績概要>

東日本大震災からの復興にあたり、従来片道で製品輸送にのみ利用していた鉄道コンテナについて、原料の輸送にも利用可能な仕組みを構築し、鉄道コンテナの往復利用を実現した。

○グリーン物流パートナーシップ会議特別賞②

<受賞者名>

北海道ジェイアール物流株式会社、株式会社北海道熱供給公社、日本貨物鉄道株式会社

<功績概要>

従来、焼却灰の輸送を鉄道コンテナで行っていたが、その復路を利用して熱供給事業で使用する木質バイオマス燃料を輸送することで、廃棄物輸送用コンテナを活用した鉄道コンテナの往復利用を実現した。

【参考】

○経済産業大臣表彰

<受賞者名>

吉祥寺活性化協議会、コラボデリバリー株式会社、タイムズ24株式会社、株式会社アトレ、豊橋創造大学、武蔵野市

<功績概要>

吉祥寺商店街を「安全で歩いて楽しいまち」とすることを目指し、恒常化していた配送業者車両の通行、路上駐車、路上荷さばきを削減するため、商店街が中心となって共同集配送など4つの取組を実施。路上駐車や路上荷さばきの削減に成功し、二酸化炭素の低減を実現。まちの景観や歩行の快適性の向上も実現した取組。

○経済産業省商務流通保安審議官表彰

<受賞者名>

味の素株式会社、味の素物流株式会社、日本貨物鉄道株式会社、全国通運株式会社、商船三井フェリー株式会社、株式会社名門大洋フェリー

<功績概要>

自社の長距離輸送をトラック中心から鉄道と内航海運へ完全にシフトする取組。また、鉄道輸送において31フィートコンテナを活用することで荷役効率の向上を実現。これらの取組により二酸化炭素の排出を大幅に削減した取組。

○グリーン物流パートナーシップ会議特別賞①

<受賞者名>

住友化学工業株式会社、日本貨物鉄道株式会社、京葉臨海鉄道株式会社、東洋紡株式会社、住化口ジスティクス株式会社

<功績概要>

大型コンテナの利用による荷役効率の向上、鉄道輸送へのモーダルシフト、異業種事業者とのコンテナ往復利用による共同物流によって、二酸化炭素を低減した取組。

○グリーン物流パートナーシップ会議特別賞②

<受賞者名>

日東工業株式会社、株式会社総合車両製作所、日本通運株式会社、日本貨物鉄道株式会社

<功績概要>

トラック輸送していたキュービクル(施設用の変電設備)を、専用コンテナを開発して鉄道輸送へ切り替えることで二酸化炭素排出量削減を達成した取組。